

安全に関するご注意

⚠ 警告

- 自転車・自動車・オートバイなどの運転中は、絶対にヘッドホンを使用しないでください。交通事故の原因となります。
- 歩行中にご使用になる場合は、周囲の交通に十分注意してください。交通事故などの原因となります。

⚠ 注意

- 接続されたAV機器の音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

使用上のご注意

- 使用中にイヤークリップがはずれて耳の中に残ってしまった場合は、耳に損傷を与える可能性がありますので、自ら摘出は行わず、ただちに医師の診療を受けてください。
- ヘッドホンなどが直接接触する耳や肌などに異常を感じたら、使用を中止してください。使用を続けると炎症やかぶれなどの原因になることがあります。
- イヤークリップを誤って飲み込まないように、小児の手の届かないところに保管してください。
- 冬場など乾燥した場所では、静電気により耳に刺激を感じることがあります。
- 許容入力以上の音量を加えると、音が歪んだり、振動板を壊す場合がありますのでご注意ください。
- ヘッドホンのプラグを抜くときは、コードを引っ張らないで必ずプラグ部を持って抜いてください。
- コードをAV機器本体に巻きつけると、プラグ部のコードが断線することがありますので巻きつけしないでください。
- 高温多湿な場所での放置は、故障の原因になりますので避けてください。
- 密閉型インナーイヤークリップヘッドホンは、歩行時などにコードのこすれ音や身体に伝わる音が聞こえる場合があります。
- イヤークリップに汚れが付くと、音質に悪い影響を与えます。イヤークリップが汚れた場合は、本体からはずれて薄めた中性洗剤で手洗いしてください。洗浄後は水分をふき取ってからご使用ください。
- イヤークリップは消耗品のため、通常の使用や保存の状態でも、経年変化で劣化します。劣化によりイヤークリップがはずれやすくなり、使用中に耳の中ではずれて残る場合があります。イヤークリップに劣化が見られた場合は、別売の交換用イヤークリップ(EP-FX2)をお使いください。
- 本機をモノラル機器に接続すると、L側(左)からしか音が聞こえません。その場合は別売アダプター AP-112Aをお使いください。
- 標準ジャック(φ6.3mm)のヘッドホン端子付AV機器に接続する場合は、別売アダプター AP-113Aをお使いください。

お手入れ方法

ヘッドホン部

- 1 ヘッドホン本体が汚れた場合は、水に濡らした布をよくしぼって表面をふいてください。
- 2 汚れがひどい場合は、水流の弱い水道水や溜めた水で軽く濯いでください。



- 3 洗った後は、乾いた布で水分をやさしくふき取り、完全に乾いてからご使用ください。
- 4 IPX5/IPX7相当の防水処理を行っていますが、完全防水ではありません。内部に水が入る場合がありますので、右図のように乾いた布を当て、軽く振って、水分を完全に除去してください。



コード部

コードが汚れた場合は、水に濡らした布をよくしぼって表面をふいてください。水洗いはしないでください。

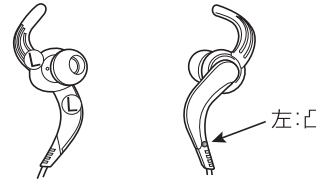
お手入れ時のご注意

- 水に浸して放置したり、水流を当て続けしないでください。
- 洗う場合はきれいな水をご使用ください。石鹸や中性洗剤、アルコールや他の化学薬品を使用しないでください。
- シンナーやベンジンなどでふかないでください。
- ブラシなどで擦らないでください。
- ドライヤーなどで乾かさしないでください。

ご使用方法

ヘッドホンを装着する

- 1 ヘッドホンの左右を確認します。(左(L側)には半円形の凸形状があります。)



- 2 イヤークリップは、お買い上げ時にはMサイズが装着されています。

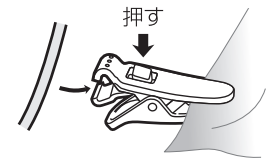
サイズが耳穴に合っていないと、低音が不足したり、音漏れの原因になります。

良い音質で楽しんでいただくためにS/M/Lから最適なイヤークリップを選び、耳穴にフィットさせてご使用ください。またピボットモーションサポートの位置によってもフィット感が異なります。下図のように位置を調節してご使用ください。



クリップを使用する

- 1 コード保持部を押し開いて、クリップにコードを取り付けてください。
- 2 衣服などにはさみ、使用してください。

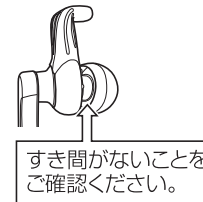


クリップ使用時のご注意

- クリップを誤って飲み込まないように、小児の手の届かない所に保管してください。
- クリップを使用する場合には、指などはさみ込みにご注意ください。

イヤークリップ交換時のご注意

- 図に示すようにイヤークリップが確実に取り付けられているか、ご確認ください。



- イヤークリップが確実に取り付けられていないと、使用中にはずれて耳の中に残る場合があります。ご使用前には必ずイヤークリップが確実に取り付けられていることをご確認ください。
- イヤークリップ交換時は、イヤークリップを傷つけないよう注意してください。

アフターサービス

修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。